

2022. 7

きくのはな通信

園長 川名マミ



子どもたちにとって新しい学年が一斉にスタートした新学期！

春・新緑・夏と季節が移り変わりとともに山の木々や草花の様子も変わります。

お花摘み・色水づくり・野菜栽培・泥団子づくり・水と泥と砂と戯れる・虫探し

こもれば園庭・ひだまり園庭の植物や生き物などの季節ごとの変化と共に、子どもたちの遊びも変化します。

家庭や公園では普段はすることが難しいあそびを経験・体験しています。そして、その場面にはいつも先生や友だちがいる。

きくのはなの子どもたちにはそんな貴重なあそびの中で創意する力や工夫する力・そして協力する力を培ってほしいと思っています。

子どもたちにとって興味のある環境を通じて将来に通じて通用する力をつけてほしいと願っています。



「ほらみて！！」作りかけの泥団子を見せにやってきます。
その泥団子はまだ粗削りでちょっとした衝撃で壊れそうな泥団子でしたが、次の日「ほらみて！！」と持ってきたときにはきめ細やかなしっかりとした団子に、そして次の機会には磨き上げたつるつるの泥団子を大切そうに見せてくれました。
「サラ粉どこでみつけたん？」と聞くと得意そうに案内してくれて「ナイショやで」と教えてくれました。
他愛もない子どもたちの遊びですが、知恵と工夫がつまみで、うまくいかず壊れてしまった団子を前に、残念そうに眺めながら、再挑戦する姿に彼らの10年後20年後の姿が重なります。



ついこの間まで20年後には今ある仕事の多くはAI(人工知能)の仕事になるだろうと言われていました。

世の中の様子を見てみると20年後ではなく本当にすぐ目の前にそのようになっていくことがますます現実味を帯びてきた昨今です。

今の子どもたちが独り立ちするころに、まさしく今経験している！菊の花での子どもたちの営みが生き抜く力となって、その子の未来を支える力になるはずで。

見た目は元気に遊んでいるだけのように見えますが、そんな**先のびする力**を製造中！

この夏、子どもたちは水や泥や砂と木々や草や生き物と